

ベトナム初の特定技能国外試験実施される

特定技能国外試験のスタートが大きく立ち遅れていたベトナムで、2021年3月23日に待望の技能試験が実施された。分野は建設（鉄筋施工）であった。

定員は30人と少なかったためか、募集開始（2月18日）から2日後の2月20日には募集が締め切られた。

特定技能の建設分野は2020年10月～



12月の期間に在留者数が大きく伸びた（642人⇒1,319人）分野である。

3月22日に緊急事態が解除された後も入国制限は続いているが、部分的にでも入国規制が緩和された場合、3月26日現在で感染者数2,581人、死者35人とコロナをほぼ完全に抑え込んだベトナムが緩和対象国になることは間違いないと考えられる。

2020年12月末の特定技能在留者15,663人の内ベトナム人は9,412人（60.1%）を占めるが、ベトナムにおいて国外試験の規模が拡大して他の分野にも広がれば、特定技能ベトナム人はますます増加すると予想される。

試験結果は3月30日に発表されたが、受験者数24人、合格者数19人（合格率79.2%）であった。

ICO新聞

月刊

発行所
株式会社ICO Japan
東京都豊島区東池袋4-8-7
コクサイビル3階
電話：03-6903-5646

大越史記全書



ベトナムの祝祭日① フン王の命日 (旧暦3月10日)

ベトナムで今年4月21日は旧暦3月10日にあたり、「フン王の命日」という祝日である。

フン王とは、ベトナムの歴史で最初の国家とされるバンラン国の歴代王の総称である。

15世紀に編纂された「大越史記全書」に建国の祖として記されているが、神話的要素が大きい。



ハノイ郊外のベトチー市（フート省）のフン寺などで伝統的な祭が行なわれる。

日本では神武天皇のような存在をイメージすると理解しやすいかも知れない。